

高校2年生 他大進学文系倫理 年間指導計画表

教科目(単位数)	他大進学文系倫理(2単位)
年間目標	センター試験レベルに対応できる学力の養成を念頭に置いて授業を展開し、基本事項の定着をめざす。
使用教科書	実教出版『高校倫理』 倫理301
使用補助教材	実教出版『倫理サマリーノート』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	第一編 青年期の課題と人間の自覚 第一章 青年期の課題と自己形成 第二章 人間としての自覚 第一節 ギリシア思想 第二節 キリスト教	青年期における人格形成の課程を理解する。 西洋思想の学問の基礎をなすギリシア哲学の流れと内容を理解する。 キリスト教の成立過程と考え方を理解する。	青年期を理解することにより、今の自分を見つめ成長の一助となることも目標にする。 知への探求の出発点を意識し理解させる。 宗教の存在意義を意識して解説する。
	後 半	第三節 イスラーム 第四節 仏教 第五節 中国思想 第六節 芸術と人生 第三章 日本人としての自覚 第一節 古代日本人の思想	イスラームの成立過程と考え方を理解する。 仏教の成立過程と考え方を理化する。 日本文化にも大きく影響を与えた中国思想を理解する。 日本文化の基礎となる考え方を理解する。	宗教の存在意義を意識して解説する。 中国思想の系譜を理解させる。 日本古来の自然観に根差している点に留意し展開する。
2 学 期	前 半	第二節 日本の仏教思想 第三節 近世日本の思想(1) 第四節 近世日本の思想(2) 第五節 西洋思想の受容と展開 1啓蒙思想と自由民権運動 2キリスト教の受容	仏教の影響を受けた日本文化を理解する。 中国思想の影響を受けた日本文化を理解する。 西欧思想の影響を受けた日本文化を学習・理解する。	日本史の授業にならないよう、考え方の変遷に重点を置きながら展開する。 中国思想がわが国でどのようにアレンジされたのかを意識して展開する。 西欧思想がわが国でどのようにアレンジされたのかを意識して展開する。
	後 半	3国家主義の台頭 4近代的自我の確立 5近代日本哲学の成立と超国家主義 6多様な文化と共生の課題 第二編 現代と倫理 第一章 現代の特徴と倫理的課題 第二章 現代に生きる人間の倫理 第一節 人間の尊重 第二節 科学・技術と人間	西欧思想の影響の中で展開した我が国の文化について理解する。 ルネサンスと宗教改革から始まったヒューマンズムについて理解する。 経験論と合理論について理解する。	日本史の授業と同じにならないように、思想の展開に重点をおいて展開する。 世界史の授業と同じにならないように、思想の展開に重点をおいて展開する。 デカルト、ベーコンは、図説使って解説する。
3 学 期		第三節 民主社会と自由の実現 第四節 社会と自己 第五節 人間への新たな問い 第六節 社会参加と幸福 第三章 現代の諸課題	近代市民社会を形成した理論を理解する。 資本主義の中で生まれてきた、様々な考え方を理解する。 人間中心主義の再検討を学ぶ。	社会契約説は「政治経済」にあるので軽く扱いカント・ヘーゲルに重点を置いて解説する。 人物の出店が多いエリアの為、思想の展開や特徴を理解させてから、各人物をとらえていくように理解させる。

評価方法	原則として「評価法」通り定期試験により評価する。ただし、必要に応じて課題レポートを課し、平常点の範囲内で加算する場合もある。
------	--

学習方法	座学中心の授業展開。副教材を利用し、「思考する」ことに重点を置いて学習する。
------	--

注意事項	座学中心なので、生徒が興味を失わないように、身近な事例をとりあげ、より具体的に理解できるよう工夫をする。「思考」することにより、青年期の人格形成の一助になることをも視野に入れていきたい。
------	---

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	資料集を使って休暇中の範囲をまとめる。2単位なので、レポート2枚程度でまとめられるため、休養中の負担は少ないと判断した。
-----------------------	--